

# 豪雨対応 過労死ライン300人 福岡・朝倉市 大分・日田市

昨年7月の九州北部の豪雨で被災した福岡県朝倉市と大分県日田市で、発生直後の1カ月間、職員計約300人が100時間を超える時間外勤務を強いられていたことが分かった。両市が8日までに明らかにした。100時間は「過労死」の労災認定の目安とされる。負担集中を避けるため、今後、職員の新規採用や、災害時の重点配置マニュアル作成などの対策を取る。

## 時間外100時間超

昨年7月の時間外勤務は朝倉市で178人、日田市で124人が100時間を超えた。防災担当職員は平均約240時間に上り、日田市では最大310時間となった職員もいた。緊急対応を求められる発生直後を過ぎると、農地復旧などに必要な国の災害査定を担当する職員に負担が集中。両市の担当部署では、昨年12月までの6カ月間で月平均100時間以上の職員は計61人だった。

長時間労働の是正などを訴えた連合熊本の春闘総決起集会＝8日、熊本市



18 春闘

## 長時間労働の是正訴え

### 連合熊本が総決起集会

連合熊本(約6万人)は8日、熊本市中央区の辛島公園で、県内春闘の事実上のスタートとなる総決起集会を開いた。国会で働き方改革関連法案が審議される中、長時間労働の是正や、非正規雇用も含めた処遇の「底上げ」を図るアピールを採択した。

35の産業別労組から約800人(主催者発表)が参加。アピールでは、労働条件や所得向上による地域経済の好循環で「熊本地震からの早期復旧・復興を目指す」とも訴えた。

上田淳会長は「春闘を勝ち抜き、賃金アップで個人消費を喚起し経済成長を目指すべきだ」と強調。参加者たちは、安倍晋三政権が目指す裁量労働制の拡大などを批判し

予測システム「スプリンターズ」開発チーム提供  
一方、連合熊本女性委員会は8日の「国際女性デー」に合わせ、下通アーケード街で、職場でのセクハラやマタニティーハラスメント撲滅などを訴えた。(太路秀紀)

中央の春闘は、自動車大手などの企業側回答が14日に集中する見通し。県内の労使交渉は中央の動きを受けて6月ごろまで続く。

## 新燃岳活発 噴石注意を

気象庁

宮崎、鹿児島県境の霧島連山・新燃岳(1421メートル)について、気象庁は8日、活発な噴火活動が続いていると発表した。天候不良で噴煙は確認できなかったが、二酸化硫黄を含む火山ガスの放出量が多い状態が継続。噴火警戒レベル3(入山規制)を維持し、噴石などに注意するよう呼び掛けた。降灰は同日までに長崎、熊本、宮崎、鹿児島島の4県で確認している。